

# 横浜市立東市ヶ尾小学校 令和4年度 体育・健康プラン

## ～体育・健康に関する指導の全体計画～

### 1 中期学校経営方針

#### (1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
豊かな知性と健やかな心身をもち、 夢に向かってチャレンジする子	心身ともにたくましく生きる力

#### (2) 中期取組目標

中期取組目標
<p>中期取組目標 「笑顔いっぱい 全力チャレンジ」の学校にします</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもの笑顔を大切にします。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題解決や学び合いの場を大切にした授業づくり、個に応じた学習や支援の充実で、安心できる環境をつくりま</li> </ul> </li> <li>○職員の笑顔を大切にします。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校組織マネジメントを推進し学校経営への参画意識を高め、やりがいのある職場づくりをめざします。</li> </ul> </li> <li>○保護者・地域の笑顔を大切にします。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・十分な情報発信による保護者・地域の信頼を得、地域の教育力を生かした地域参画型学校運営を進めます。</li> </ul> </li> </ul>

#### (3) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
健やかな体	<p>①「手洗いの徹底」や「咳エチケット」「マスクの着用」などの指導を積極的に行うことで、自分たちにもできる感染症予防について気付かせ、「自分がうつらない」「自分がうつさない」の意識を向上させていく。</p> <p>②保健学習の時期の見直しを改めて行うとともに、より一層日常生活と関連付けた学習への取組を行う。体育の授業以外の時間も活用し、全校児童の体力向上の取組を積極的に行う。新しい生活様式に則った休み時間を利用した体力向上を図る。</p> <p>③新体力テストの結果を家庭にも発信することで、授業中だけでなく、日常生活においても運動に親しむ態度を養う。</p>
担当	体育部

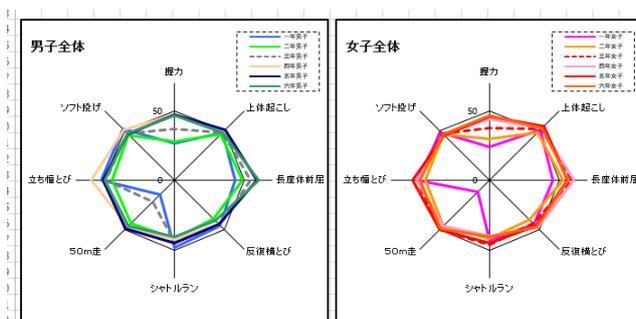
### 2 体育・健康に関する実態把握

#### (1) 体育・健康に関する実態

- ・50m走、20mシャトルラン、握力が、全ての学年で偏差値50を下回っていることが分かった。中でも、握力に関して1～3年は大きく下回っている。
- ・令和元年度の「体力・運動能力」と「生活実態」をクロス集計すると、「体力・運動能力」が市平均を上回っている学年においては、「生活実態」においても平均を上回っていることが分かっている。

#### (2) 要因の分析

体力や運動能力には、朝食の有無や睡眠時間などの生活習慣が関係していることが考えられる。生活の中では、何かを握る経験が減っていることや、令和2年度はコロナ禍の中で体を動かす機会が減っていることが原因の一つに考えられる。学校においては、意図的に握る動きに繋がる遊びや運動を取り入れることで、運動への意識を高まり、能力の向上が期待できると考える。



### 3 体育・健康に関する具体的取組

#### 教科

##### <体育科の取組>

健康な生活を実践する態度、自己の健康のために主体的に課題解決する力を育む

- ・子どもが運動の特性に触れた楽しさを実感し、仲間との対話による課題解決や学習資料の活用による主体的に取り組む体育科の授業展開の工夫
- ・養護教諭や栄養職員による、子どもたちの生活や他教科等の学習との関連を図った取組の工夫

##### <他教科での取組>

心身の健康な生活を実践する態度を育む

- ・「誠実に明るく心で生活しようとする態度」の育成を目指した道徳の授業づくり

#### 特別活動・総合的な学習の時間

規則正しい生活をしようとする態度、進んで運動しようとする態度を育む

- ・保健委員会による生活習慣に関する取組
- ・運動委員会や集会委員会による運動機会の提供
- ・学校医、養護教諭、栄養職員による健康指導から自分の生活状況を見つめ、学んだことを実践できる力を育む特別活動の授業づくり
- ・子ども一人一人が目標をもって取り組み、体力、健康に関する課題を解決しながら進める運動会

#### 課外活動

- ・健全な食生活を営む態度を育むために、給食の時間を活用し、栄養など食に関する指導を行う。
- ・新体力テストの結果を共有し、家庭と連携を図るために、個人面談等を利用して保護者と話し合う。

### 令和3年度 東市ヶ尾小学校 体力向上1校1実践運動

《名称》 ヒガイチ体力・健康アップ大作戦（児童会活動を中心とした子ども主体の取組）

《ねらい》 子ども主体による体育・健康に関する活動を日常的に位置付けて取り組むことで、子どもたちが生涯を通じて運動を日常生活の中に積極的に取り入れようとする態度を育成する。

《内容》 ・運動機会確保への取組、規則正しい生活習慣への取組を、児童会活動による子ども主体の取組で勧める。

・運動委員会・集会委員会 ドッジボール大会、なわとび大会

・保健委員会 生活習慣の啓発、取組推進、カード作成・配布

●指 標： ①生活実態調査「運動やスポーツの実施状況」「睡眠時間」「朝食摂取状況」

「1日の運動・スポーツの実施時間」

②学力・学習状況調査の意識調査と子どもの活動の状況との分析